

## 2022 年度 NU-COIL 「国際産官学連携 PBL 科目」

### 各科目の詳細と申込方法・選考日程について

#### 【すべての科目に共通する概要】

この科目は、演習形式で行われます。キャリア形成に結びつく実践的な COIL 型授業に位置付けられ、愛知県に所在する企業、団体、官公庁からビジネス・行政上の課題を提供してもらい、その課題に対して、海外の学生とオンラインツールを用いて共に理解を深め、解決策等を議論します。課題の提供先企業等に成果を発表し、また解決策等を提案し、フィードバックと評価を受けます。評価は成績に反映されます。この授業を通じて、異なる文化背景を持つ学生と、今まで培った外国語能力を活用しながら協働して課題に取り組み、グローバル人材としての素地を養うと同時に、実社会での課題に触れ、キャリア形成に生かすことが期待されます。南山大学 NU-COIL プログラムについてはウェブサイトにて公開しています (<https://office.nanzan-u.ac.jp/nu-coil/>)。

#### 【すべての科目に共通する到達目標】

1. 問題や課題を理解し、客観的にとらえることができる
2. グループ内で、問題や課題に対する解決策をいくつか提案し、建設的な議論ができる
3. 異なる文化背景をもつ学生がいる中、グループ内で意見をまとめ、最適な解決策を提案することができる

#### 【すべての科目に共通する注意事項】

- 約7週間（全7回の授業）でプロジェクトを達成することが求められます。時差があるため、海外の学生とは、授業の時間外で連絡を取り、話し合いをする必要があるため、自分のスケジュールをみて、プロジェクトに関わる時間が確保できることを確認してください。やむを得ない事情で授業を欠席する場合には事前に教員へ相談すると共に、グループのメンバーとも相談をしてください。
- グループのメンバーは教員が割り振ります。
- オンラインでグループワークをする際は、各自で所有する端末を利用します。学外では各自のインターネット環境が必要です。

【各科目の授業内容】※状況により変更が生じる場合があります。

## < PBL COIL A >

連携企業：株式会社マキタ、一般社団法人グローバル愛知

連携大学：米国ノースジョージア大学

課題：米国やその他の国・地域で駐在等の経験がある日本人社員と、日本で勤務している外国人社員、双方へインタビューをし、日本と他国における働き方やビジネスコミュニケーションの違いに気づき、理解を深めます。ノースジョージア大学の学生と理解を深めながら、日本社会や文化を客観的に見つめ、コミュニケーションにおける配慮や注意点、日本と海外の比較分析を通して、円滑なコミュニケーションを実現するための方法を提案します。

授業日時：火曜日 5 限（17:25 – 19:05）

授業計画（予定）：

- 9/20(火) 第1回 導入
- 9/27(火) 第2回 企業の講話とインタビュー、グループディスカッション
- 10/4(火) 第3回 企業の講話とインタビュー、研究・調査報告
- 10/11(火) 第4回 中間調査報告、グループディスカッション
- 10/18(火) 第5回 講義と実践（異文化コミュニケーション）、研究・調査報告
- 10/25(火) 第6回 プロジェクト最終報告書の最終確認、発表準備、クラス内相互評価・分析
- 11/8(火) 第7回 最終発表

学外授業：本科目においては、実施しない予定です。

評価方法：

- ・提出物 30%
- ・最終レポート 30%
- ・授業内外での取り組みへの積極性 10%
- ・最終プロジェクト 30%

テキスト／参考文献：

エリン・メイヤー『異文化理解力-相手と自分の真意がわかる ビジネスパーソン必須の教養』（英治版(2015/8/22))

その他：ノースジョージア大学の学生との交流に際する使用言語は英語です。

昨年度の成果物（<https://office.nanzan-u.ac.jp/nu-coil/news/sangaku/023062.html>）

## <PBL COIL B>

**連携組織・団体**：在名古屋米国領事館、社会福祉法人 AJU 自立の家

**連携大学**：米国メリーランド大学ボルティモアカウンティ校

**課題**：障がい者のソーシャルインクルージョンをプロジェクトのテーマとし、制作物として、大学キャンパスや施設、街のバリアフリーマップを作成します。米国学生とは、互いの大学や周辺施設のバリアフリー化を比較し、日米比較という視点から議論をします。実際に車いすで生活をされている方から講演を聞き、障がい者からの視点で社会問題を学び理解を深めます。さらに、米国領事館より提供される、米国の法制度に関わるシンポジウムの講演や、メリーランド大学ボルティモアカウンティ校の障がい者サポート担当者の講義を聴くことで、米国との比較をヒントに問題解決の方法を探ります。

**授業日時**：金曜日 5 限（17:25 – 19:05）

**授業計画（予定）**：

9/16(金) 第1回 導入、連携組織担当者より講義

【9/21(水) 中部国際空港の見学（任意参加）】

9/30(金) 第2回 グループディスカッション、研究・調査報告

10/7(金) 第3回 フィールド調査、グループディスカッション

10/14(金) 第4回 フィールド調査、中間調査報告

10/21(金) 第5回 連携組織担当者より講義、研究・調査報告

11/4(金) 第6回 プロジェクトの最終確認、発表準備、クラス内相互評価・分析

11/11(金) 第7回 発表

**フィールド調査（学外授業）**：第3回と4回ではフィールド調査を予定しています。場所や時間の詳細については追って連絡しますが、皆さんの予定を考慮して決定します。

**学外活動**：中部国際空港にて学外活動を予定しています。（日時）9/21（水）午後2時から4時

※任意での参加ですが、都合がつかない学生は、申込時にその旨を記載してください。

**評価方法**：

- ・提出物 30%
- ・最終レポート 30%
- ・授業内外での取り組みへの積極性 10%
- ・最終プロジェクト 30%

**テキスト／参考文献**：資料配布

**その他**：9/16（金）と11/4（金）午前8時から9時の時間帯を利用して、米国学生と一斉で ZOOM ディスカッションを行います。米国メリーランド大学ボルティモアカウンティ校の学生との交流に際する使用言語は英語です。

## <PBL COIL C>

**連携企業：**小島プレス工業株式会社

**連携大学：**天津師範大学（中国）

**課題：**トヨタ自動車系の大手内外装部品メーカーである小島プレス工業株式会社（本社・豊田市）から提供される課題「10年後のクルマのあり方を考える」に対して、天津師範大学（中国）で日本語を専攻する学生とオンラインで協働しながら「調査・企画～プレゼンテーション」までを行います。異なる言語・文化背景を持ち、外国語として日本語を学んでいる（Japanese as a foreign language）人々と効果的にコミュニケーションを図りながら、共通のゴールを達成するためのスキルを身に着ける実践的な授業です。昨今、日本でも外国人住民の数が急増しています。このクラスで身に着ける、外国の方々と母語である日本語でスムーズにコミュニケーションを進めていくスキルは、「内なる国際化」の時代において不可欠なスキルです。

**授業日時：**月曜日5限（17:25-19:05）

**授業計画（予定）：**

- 9/19(月) 第1回 オリエンテーション、小島プレス工業株式会社からの講義
- 9/26(月) 第2回 異文化間コミュニケーション①、グループワーク（議論、調査）
- 10/3(月) 第3回 異文化間コミュニケーション②、グループワーク（議論、調査）
- 10/10(月) 第4回 中間発表（予定）
- 10/17(月) 第5回 プレゼンテーション技法、グループワーク（議論、調査）
- 10/24(月) 第6回 プロジェクト最終確認、発表準備
- 11/7(月) 第7回 最終報告会

\*第1回、第4回、第7回は、天津師範大学と同期型での授業を計画しています。

**学外授業：**なし

**評価方法：**

- ・提出物 30%
- ・最終レポート 30%
- ・授業内外での取り組みへの積極性 10%
- ・最終プロジェクト 30%

**テキスト／参考文献：**資料配布

**その他：**天津師範大学の学生との交流に際する使用言語は、原則、日本語ですが、必要に応じて英語を用いることもあります。

一昨年度の PBL C の特集記事が以下のリンク先からご覧いただけます。参考にして下さい。

<https://office.nanzan-u.ac.jp/nu-coil/pblcoil-special/2020pbl-c/>

## < PBL COIL D1 >

**連携組織・企業：**愛知県庁、株式会社オレンジ・アンド・パートナーズ

**連携大学：**米国アリゾナ州立大学

**課題：**米国アリゾナ州立大学の学生と、米国の高校生のためのフィールドトリップを企画します。フィールドトリップは愛知県内で実施されることを想定して企画します。米国の高校生から意見を聞きながら愛知県の魅力を再発見し、学びのある楽しい企画を愛知県庁へ提案します。株式会社オレンジ・アンド・パートナーズの担当者より、企画やプレゼンテーションの仕方に関する講義を受け、さらに愛知県の国際課より国際戦略にかかわる講義を受けながら進めていきます。

**授業日時：**木曜日 5 限（17:25 – 19:05）

**授業計画（予定）：**

9/22(木) 第1回 導入、連携組織担当者からの講義

9/29(木) 第2回 グループディスカッション、研究・調査報告

【10/5(水) 愛知県国際課からの講義（任意参加）】

10/6(木) 第3回 10/5(水)の振返り、研究・調査報告

10/13(木) 第4回 中間調査報告、グループディスカッション

10/20(木) 第5回 グループディスカッション、研究・調査報告

10/27(木) 第6回 プロジェクトの最終確認、発表準備、クラス内相互評価・分析

11/10(木) 第7回 発表

**学外活動：**愛知県庁にて学外活動を予定しています。（日時）10/5（水）午後2時から4時  
※任意での参加ですが、都合がつかない学生は、申込時にその旨を記載してください。

**評価方法：**

- ・提出物 30%
- ・最終レポート 30%
- ・授業内外での取り組みへの積極性 10%
- ・最終プロジェクト 30%

**テキスト／参考文献：**資料配布

**その他：**アリゾナ州立大学の学生との交流に際する使用言語は英語と日本語の両言語です。

2020年度実施時の様子（<https://office.nanzan-u.ac.jp/nu-coil/pblcoil-special/2020pbl-d/>）

9月27日（月）午前8時から9時の時間帯を利用して、アリゾナ州立大学の学生と一斉 ZOOM オリエンテーションを行う予定です。

## <PBL COIL D2>

**連携組織・企業：**ブラザー販売株式会社

**連携大学：**米国メリーランド大学ボルティモアカウンティ校

**課題：**米国メリーランド大学ボルティモアカウンティ校で「Business Japanese」を受講する学生と協力し、ブラザー販売株式会社から提供される課題解決に取り組みます。今年度のトピックは、持続可能な開発目標 SDGs に関する製品・サービスの提案です。履修者は、ブラザー販売株式会社の企業としての取り組みを知り、着目する社会課題を深掘りした上で、グループメンバーと多角的な視点から SDGs を踏まえた課題解決方法について探求し、ブラザー販売株式会社に対して SDGs に関する製品・サービスの提案を行います。本科目では、担当教員、外部講師のアドバイスを受けながら、グループメンバーや他の履修者との交流・協働を通し、学びを深め、アイデアを改善し、提案をつくっていきます。提案をグループでまとめる体験を通して、コミュニケーションスキルや課題解決力などを身につける実践的な授業です。

**授業日時：**木曜日 5 限 (17:25 - 19:05)

**授業計画 (予定)：**

- 9/22(木) 第1回 導入、課題説明、連携組織担当者からの講義
- 9/29(木) 第2回 企業の SDGs の取り組みについて、グループディスカッション
- 10/6(木) 第3回 グループディスカッション、研究・調査報告
- 10/13(木) 第4回 中間報告、グループディスカッション
- 10/20(木) 第5回 グループディスカッション、研究・調査報告
- 10/27(木) 第6回 プロジェクトの最終確認、発表準備、クラス内相互評価・分析
- 11/10(木) 第7回 発表

**学外授業：**なし

**評価方法：**

- ・提出物 30%
- ・最終レポート 30%
- ・授業内外での取り組みへの積極性 10%
- ・最終プロジェクト 30%

**テキスト／参考文献：**

参考文献：白井 旬『経営戦略としての SDGs・ESG：“未来から愛される会社”になって地域×業界 No.1 を目指す』（合同出版、2022/02/28）

**その他：**

メリーランド大学の学生との交流に際する使用言語は英語と日本語の両言語です。

9月15日 9:00am よりメリーランド大学の学生と同期型の事前オンラインオリエンテーションを行います。参加するために、予定を空けておいてください。

## 履修申込について

### 【申込方法】

下記の受付フォームより申し込みをしてください（南山生・他大学生共通）。  
（リンク） <https://app.nanzan.ac.jp/regform/regist/univ/intlstrategy/20220704>

### 【申請時の注意点】

- ・ PBL COIL A～D2 まで複数科目の履修申し込みが可能です。  
※PBL D1 と PBL D2 を両方履修することはできません。ただし、併願することは可能です（例：A,C,D1 などは履修可、A,C,D1,D2 や B,D1,D2 などは履修不可）。PBL D の 2 科目の併願を希望する場合は、第一希望と第二希望を記入してください。第一希望の選考で不採用となった場合、第二希望の枠に空きがあれば第二希望の科目で選考対象とします（ただし、定員を上回る申し込みがあった場合、どちらも採用とならない場合があります）。  
受付フォームの「履修希望科目欄」で選択した科目（A,B,C,D1,D2）は、選考に通過した場合、そのすべての科目を履修してください。（例：A,B,C,D1 と記入した場合、選考により最大で A,B,C,D1 の 4 科目が登録となります。自身の予定をよく確認した上で申し込みをしてください。原則として、選考通過後に辞退をすることは控えてください。）
- ・すでに単位取得済みの科目については、再登録はできません。

### 【選考方法】

書類選考

### 【選考基準】

留学経験、COIL 型授業の受講履歴、語学力、志望動機などを総合的に勘案して選考します。

### 【履修可能な学年】

2～4年生

### 【選考スケジュール】

申込期間：2022年6月13日（月）から2022年7月4日（月）13時30分

合否発表：2022年7月29日（金）

南山大学の学生及び他大学の学生ともに、南山大学国際センターNU-COIL オフィスよりメールにて直接合否の連絡をします。

### 【履修登録】

南山大学の学生：

履修決定者の科目登録方法は自動登録です。（自分で履修登録する必要はありません。）

2022年度秋学期初回登録期間中に、該当科目がきちんと登録されているか PORTA 履修時間割表で確認してください。ただし、既に登録済みの他の科目と時間割が重複している場合や、登録上限単位数に達している場合は、本科目の登録が出来ません。その場合は、国際センター事務室 COIL オフィスより個別にメールにてご連絡しますので、必ず確認してください。また、科目を誤って取消さないよう注意してください。ご質問等は NU-COIL オフィス担当者（[coil-office@nanzan-u.ac.jp](mailto:coil-office@nanzan-u.ac.jp)）までお知らせください。

他大学の学生：

こちらの申請の他に、所属大学での手続きが必要となります。出願から履修までの流れは、愛知学長懇話会の Web ページを参考にしてください。 <https://aichi-gakuchou.jimu.nagoya-u.ac.jp/howto>

所属大学での申し込みの期日については、ご自身で必ず確認してください。

以上